

参加された皆さまの発言を尊重して、修正せず当日発言された内容を掲載することを基本にしていますが、下記のとおり掲載にあたって配慮を行っています。

- ・ 発言者については氏名を記載せず、NUMO職員についてはNUMOと、ファシリテーターについてはファシリテーターと記載しています。
- ・ NUMOの職員、ファシリテーターの方の氏名が、発言中にある場合は、そのまま記載しています。
- ・ 記載することで発言の内容がわかりやすくなり、かつ発言中の議論に影響を与えないものについては、一部加工しています。

寿都町 対話の場（第7回）会議録

1. 日時：2022年2月16日（水）午後6時30分から午後8時45分
2. 場所：寿都町総合文化センター ウイズコム
3. 会議録

（1）開会・挨拶

○NUMO

皆さま、こんばんは。これより第7回対話の場を開催させていただきます。本日の出席者は12名でございます。いつも誠にありがとうございます。

それでは、これより前回の振り返りなど意見交換に入っております。ここからの進行は、ファシリテーター竹田先生にお願いしたいと思います。マスコミ各社の皆さま、恐れ入りますがご退出をお願いいたします。中継はここまでとなります。

それでは、竹田先生、よろしくお願いいたします。

○ファシリテーター

はい、皆さん、こんばんは。北海道大学の竹田でございます。本日もよろしくお願いいたします。

<（2）ワークショップ 非公開>

（3）振り返り

○NUMO

ここからYouTubeによる配信を再開させていただきます。本日の対話の場につきまして、ファシリテーターの竹田先生から振り返りを行っていただきます。こちらは、対話の場の内容のご説明となりますので、マスコミの皆さまのぶら下がりインタビューということではありませんのでご承知おきください。トータルで10分程度ご説明の後、わずかの時間ではございますが、ご質問をお受けするというのも予定しております。

それでは竹田先生、よろしくお願いいたします。

○ファシリテーター

北海道大学の竹田でございます。よろしくお願いいたします。今日の議論についてご報告したいと思います。

いくつか付箋が貼ってあるんですけども、ちょっとご説明を最初にさせていただきます。議題1、議題2、議題3、議題4、ここに書いてあるのが今日やった内容でございます。それ以外のところは、前回からの続きがありましたので、第6回にやった内容も若干貼ってありますので、今日やったポイントをうまく話せばいいかなと思っています。

では、議題1からまいりましょう。議題1は、前回、「安全性についての考え方」ということで、NUMOから説明があったことに対して、質問事項が1つございました。それについて、まだ十分に回答しきれていませんでしたので、質問内容の確認をしたというのが議題1でございます。

「ガラスで固めるから安全という説明を受けました。固まっていなくても安全というのは納得できない。」というようなご質問をいただいていたので、ちょっと深掘りさせていただきました。「ガラスで固めると安全と言われている。ガラスで固められないものもある、ということ考えると安全なのか納得できないし、はつりガラスをTRUとして処分するとセメントで高アルカリの影響を受けるのではないかと、というようなところ。ガラスで固まっていなければならないのに固まっていない不良品があるんじゃないですか。」という、そういうような整理をさせていただきましたので、次回以降にNUMOから説明いただくということになりました。

議題2でございます。「対話の場公開のあり方について」、この議題2のテーマは前回の、集まりやすい機会づくりをどうしたらいいですか、というテーマでの話し合いの中で、「公開したほうがいいんじゃないですか。」というご意見をいただきました。それに対して事務局からの説明がございました。いくつかやってらっしゃることをご紹介いただいたんですけども、「議論の内容が伝わるのが重要と考えておりますので、ホームページでの情報公開、テレビ寿都での公開、それから、発言者がわからないように字幕で流したりして加工をしているような動画の公開、これはDVDですね、それから、対話の場通信で発信しています。」そういうことを今はやられているということをご説明いただいたところ、「字幕でも誰の発言か大体分かってしまうので、そのまま流せばいいんじゃないですか。」「公開ということを考える時に、皆さんの了解が必要だし、席をその際に外していただくようないろんな工夫があるんじゃないですか。」というようなご意見をいただきました。なので、この「対話の場公開のあり方について」につきましては、今後の対話の中で受け止めていきたいというようなところで、今日の議論は終わっています。

議題3でございます。「青森県六ヶ所村の皆さまとの交流について」ということで、前回、「核燃料サイクル施設などが建設された、これまでの経緯の中で地域の方々がどのように考えて、今どのように思っているのかを聞きたいです。」という問いがございまして、「いろんな方に聞いたほうがいいんじゃないか。」と、前回ご提案をいただきました。それに対して事務局から、「まずは全体の経緯が分かるような然るべき方に調整をして、交流を始めたいのですがどうですか。」というようなご提案がありまして、いくつかご意見がありました。「参加しないよ。」という方もい

らっしゃったし、「その方向に進めたいので逐次報告してください。」「適宜報告する。」と書いてありますけども、そういうようなご意見。それから「12月に開催した視察会に行けなかった人はどうするんですか。」というような話がありましたので、「雪解け以降に実施予定です。」と。六ヶ所、幌延の話ですね、そういうようなやり取りがございました。なので、こちらのほうは事務局で準備を進めて、適宜報告する、というかたちになります。

最後に議題4でございます。「放射線の基礎知識」ということで、資料も皆さま方に手渡しされていると思うんですけども、飯塚先生という放射線のご専門の方から分かりやすく、かつ、非常に詳しい説明をいただきました。説明内容は割愛させていただいて、質問事項についてお話をしたいと思います。

「CT検査を年2回受けることをどう考えるか。」医療被ばくの件ですね。「泊原発のある後志の癌による死亡率が増えているとの報告があつて心配です。」という声。それから、「測定値の値1時間あたりのことだけでも、1分あたりだと60分の1になるのか。」これは単位の話ですね。非常に難しい、単位の話なんですけども、しっかりご質問いただいていると思います。あと、「モニタリングポスト、これは役場の前にあるわけですけれども0.04マイクロシーベルト、ここで測ってみたら0.05マイクロシーベルト、0.06マイクロシーベルトだったので、(役場の前のモニタリングポストの数値のほうが)ちょっと低いけど何故。」というような話。それから、「放射線治療で毛が抜けるのではないか。」というようなお話。「大量の放射線を受けても大丈夫な生物はいますか。」とか、これはクマムシの話ですね。また「人に影響がなくても影響がある生物もいるか。」とか、そういうようなご質問もありました。「このような基礎知識を今後も深めていく機会が欲しいです。」というような、最後にまとめ的なご発言だったんですけども、「メンバー以外の方にも、どんどん今後も深めていくような機会を作って下さい。」とか「今日の説明は分かりやすかった。町民の皆さんにも聞いてもらいたい。」というようなまとめの発言がございました。

最後に、これはちょっと今日の議題とは少し違うところなんですけど、最後にご意見を伺ったところ、「今後に向けての取り組み」のところ、すいません、ちょっと小さくなりますね。「全国の他の地域でも手を挙げてほしい。それにより国民での議論につなげたいので、町長、NUMO、国の思いを聞きたい。」というようなお話がありました。それに対しては、それぞれご回答をいただいたんですけども、「寿都町は地層処分事業の議論が全国に広がることを目指して、一石を投じるため真っ先に手を挙げました。今後、全国に議論を広げるには国、NUMOによるきっかけづくりが課題ですね。」というようなお話。それから「寿都・神恵内での活動を知らせていきたい。」というようなお話。それから、「文献調査の3番目の地域が出てくることが重要で、関心を持っている地域もあるんです。」というような説明。それから、「2地点だけの問題ではないと認識。」、2地点というのは寿都和神恵内ですね、「体制を強化して組織を挙げて取り組んでいきたい。2地点での取り組みについて、これまで以上に積極的に発信していきたい。」というようなご回答が、町長とNUMOと国からなされました。最後にこのようなやり取りもございました。

以上、これで報告を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○NUMO

ありがとうございました。若干お時間がございますので、ご質問ございましたらお受けいたします。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、以上で対話の場を終了いたします。ありがとうございました。動画配信、中継もこれで終了となります。ありがとうございました。